

社会福祉士国家試験の在り方に関する検討会（第5回）

議事概要

- これまでの議論等を踏まえ、取りまとめに向けた見直しの方向性について議論。

- 主な意見
 - ・ 「地域共生社会の実現を推進し、新たな福祉ニーズに対応できる実践能力を有する社会福祉士を養成する」というカリキュラム改正の趣旨を踏まえ、タクソノミー分類を踏まえた問題作成を行い、解釈力や問題解決力等を問うことができる事例問題による出題を充実させるべき。

 - ・ 社会福祉士は様々な分野に就労する可能性があることを踏まえ、ソーシャルワークの専門職として最低限備えておくべき基本的な知識や技能を有しているか、確認・評価できる問題を出題すべき。

 - ・ カリキュラム改正によって、試験科目のカリキュラム時間数が780時間から720時間に見直しされたことを踏まえ、受験者の負担軽減の観点から、試験時間や出題数を可能な限り削減すべき。